

## パブリックコメントに対する意見・要望件数一覧

## 1. 総数

47 件 [内訳：個人19件、法人(団体)28件]

## 2. 属性

## (1) 個人性別

男性	7名
女性	9名
不明	3名
計	19名

## (2) 個人年代

20代	2名
30代	2名
40代	7名
50代	2名
不明	6名
計	19名

## (3) 個人職業

- ・会社員(2名)
- ・パート(2名)
- ・主婦(1名)
- ・保育事業(1名)
- ・子育て支援者(1名)
- ・プレイワーカー(1名)
- ・児童厚生員(1名)
- ・家庭支援専門相談員(1名)
- ・乳児院院長(1名)
- ・無職(1名)
- その他不明

## (4) 個人住所

都内(23区内)	11名
都内(23区外)	7名
都外	1名
計	19名

## (5) 法人業種

保母・子育て支援関係	5件
父母有志	21件
ひとり親関係	1件
不明	1件
計	28件

## (6) 法人所在地

都内(23区内)	26件
都内(23区外)	2件
計	28件

## 3. 意見内訳 (概要)

No.	大項目	(件)		
		法人	個人	合計
1	3つの理念	1	7	8
2	5つの視点	3	1	4
3	第3章 目標1 地域で安心して子育てができる新たな仕組みづくり	4	2	6
4	第3章 目標2 仕事と家庭生活の両立の実現 (1)家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進	1	4	5
5	(2)都市型保育サービスの推進 ①全般	5	8	13
6	②保育所の最低基準の維持・拡充	9	0	9
7	③保育士について	3	0	3
8	④給食の外部搬入について	12	0	12
9	第3章 目標3 子供達がたくましく成長・自立する基盤づくり	2	3	5
10	第3章 目標4 特別な支援を必要とする子供や家庭の自立を促進する基盤づくり	4	4	8
11	第3章 目標5 子供の安全と安心を確保し、子育てを支援する環境づくり	0	2	2
12	遊びの環境づくり(プレーパークほか)	0	6	6
13	不妊治療	0	1	1
14	その他	2	3	5
	合計	46	41	87

※意見は重複カウントしている。

	大項目	意見・要望の要約
1	3つの理念  8件	<p>[全般] ○大枠としては良いと思った。(1件) [理念①すべての子供達が個性や創造力を伸ばし、次代の後継者として自立する環境を整える]について ○父母が共に朝から夜遅くまで働く為に保育園などへ預ける事が本当に子供達にとって豊かな環境なのか(1件) ○子育ては家庭教育が基本。働く親の子育て外注意意識を助長せぬように配慮を。(1件) ○理念はとても良いが、重点的取組や事業例に反映されているように見受けられません。(1件) ○教育などと並行して、「豊かな遊び」という文言が入っている点は評価できるが、「目標」や「具体的な展開」などでは、ほとんど記述が消えてしまっており、「豊かな遊び」が何を意味するのかあいまい。専門家に意見を求めた形跡が見られないのは残念。(1件) ○不登校になった子どもの、都立高校等における受け入れ体制の拡大と、小中学校教職員が対応についての共通理解を持てる体制づくりをお願いする(1件) ○喘息や肥満の子供達の生活・体質改善のため、各区が設置していた「健康学園」が財政的な理由から次々と閉鎖されていると聞くので、存続のための助成などがあればよいと思う(1件) [理念③社会全体で子供と子育て家庭を支援する]について ○「低下した家族や地域社会の子育て力の補完には、社会の中に多様な子育て支援の仕組みを整えることが重要」と述べられていることは、評価できる。(1件)</p>
2	5つの視点  4件	<p>○「子供の立場からの視点」という文言が入ったこと、また、「NPO団体」も文言に明記されたことは地域で子ども・子育てに関わる活動をしている身としては大変評価したい。(1件) ○視点⑤で子供の立場からの視点を重視しているのはとても良いと思うが、それが重点的取組や事業例に反映されているように見受けられません。(1件) ○保護者(大人)のニーズと子どもたちのニーズは違うことを忘れてはならない。(1件) ○行政は今ある施策メニューにニーズを当てはめる傾向があるように思う。行政のサービスと、その隙間を埋めるNPOや地域の活動をどう捕らえるかを具体的に書かないと、NPOや地域の活動に期待するだけで終わってしまうように思う。このような連携を生かすには、コーディネートする人材が重要と思う。(1件)</p>
3	第3章 目標1 地域で安心して子育てができる新たな仕組みづくり  6件	<p>○対象事業として、「早期からのしつけの後押し事業」があげられているが、目標1との関係が疑問。(2件) ○町内会単位の小さなエリアで、子育て家庭を見守れるような環境作りが必要。お年寄りの方に子育ての協力を得られればと考えます。(1件) ○地域子育て市民団体(NPO等)を有効利用する仕組みづくり、子育て講座等子育てを学ぶ機会を提供するなど、保育環境の向上や地域の一層の理解を向上するような仕組みづくりが望ましいと思います。(1件) ○小児医療に関しては、一極集中でなく、身近なところで受診できる体制作りが必要です。(1件) ○3つの小児病院の廃止を止めること。(1件)</p>
4	第3章 目標2 仕事と家庭生活の両立の実現 (1)家庭生活との調和が取れた職場づくりの推進  5件	<p>○企業向けの制度保証などを構築して、子どもを授かりやすくなる環境作りを進める(男性も同様)。(1件) ○雇用体制を根本的に見直すべき。(父親も残業禁止・制限等を選択できるようにする、平日の子育て時間の確保等)(1件) ○行政は啓発のみを行う中身であり、働くものと事業者任せと感じました。(1件) ○小児科医師・産婦人科医師の勤務環境の改善や子育てとの両立支援を促進することに期待する。(1件) ○病児・病後児保育の充実より、子育てに理解ある職場づくりが優先です。病気の時は子どもも不安です。できれば親の看護が望ましいと考えます。(1件)</p>
5	(2)都市型保育サービスの推進 ①全般  13件	<p>○待機児童解消のために認可保育園を緊急に増設すること。(3件) ○待機児童に関する市町村の緊急対策および長期計画へのテコ入れをお願いいたします。(1件) ○今の保育制度が質的にも量的にも不十分であることは客観的に明らか。(1件) ○認可保育所の分園事業を拡充していただきたい。認証保育所よりも認可保育園への運営費補助の拡充を進めていただきたい。(1件) ○地域に密着し信頼されてきた「保育室」の活用を計画に盛り込む事を望みます。(1件) ○待機児童問題もあるが、都心部と西部地域では大きな違いがある事を認識して、子どもの数が確実に減少している現状に向けて対策を検討して頂きたい。(1件) ○定期利用保育(仮称)について…待機児童対策ならば、短時間勤務労働者のための保育所を認可保育園の分園事業等で進めていただきたい。(1件) ○保育施設が不十分、延長保育の無料化も図れるとありがたい。学童保育の人数制限の緩和も必要。(1件) ○子ども達が安全に通えるように学童保育を増やしてください。(1件) ○学童クラブの育成時間の延長希望。学童クラブの育成時間の延長を行う都型学童クラブの補助対象を民間運営だけでなく、公設についても対象として頂きたい。(1件) ○都型学童クラブの創設については、学童クラブの基準があいまいなため、何をもって質の担保等がされているのかが分からない。東京都としての最低基準を設けることをしていただきたい。学童クラブへの補助が市区町村で偏っていることにより、新規事業者での広がりを見せていない。(1件)</p>

6	②保育所の最低基準の維持・拡充  9件	<p>○待機児解消と保育所を増やしていくのは良いですが、最適基準以上の質の高い保育所をたくさん作ってください。(7件)</p> <p>○認証保育所の基準引き上げや保育料の引き下げ。面積基準緩和の否認等、現行の保育所最低基準の堅持・拡充等々、真に『子どもが主人公』のみんなで育むまちづくりに力点を置いた計画にしてください。(1件)</p> <p>○待機児解消は現行の保育制度で、子どもたちが安心して生活できる面積基準、人員配置を考えて行ってください。諸外国は国の未来を考えて、子供の為の予算を増やしています。日本でも子育て支援を重視し、保育制度を拡充してください。(1件)</p>
7	③保育士について  3件	<p>○保育士の経験や質を高める為にも、じっくり子どもと向きあう職員の賃金労働条件の保障が必要。(1件)</p> <p>○長時間保育、低賃金で職員の確保が難しくなっています。有資格者の再就業支援を整えることとあわせて、働き続けられるような労働条件を作っていく事が急務です。そのためには、人員配置加算や賃金保障への支援を実施する必要があります。(1件)</p> <p>○保育サービスを行う現場の保育士の身分保障、給与のレベルアップも必要です。(1件)</p>
8	③給食の外部搬入 12件	○保育所の給食外部搬入否認や委託給食の廃止、食育を進めるには自園での調理が不可欠です。(12件)
9	第3章 目標3 子供達がたくましく成長・自立する基盤づくり  5件	<p>○塾に通わずとも学校教育だけで十分のように、まず教員のレベルアップを図って欲しい。(1件)</p> <p>○教育面での学力・体力向上に主眼を置いているが、子供たちが自主的に地域でつながり、遊び、活動できる場づくりの支援という取組を盛り込まなければ不十分。(1件)</p> <p>○公立学校の補習の充実の前に低学年時期の少人数学級(1・2年生20人程度)の導入が望ましい。(1件)</p> <p>○中高生の職業体験に関しては、真剣に取り組む一定の期間が必要。また、社会に有用な人材を育成するための大学等への進学補助や職業訓練制度を充実すれば、若者の社会的自立に貢献できると思います。(1件)</p> <p>○記載されている「就職や就学自体を希望しない者、社会との関係を築けずに自宅以外での生活の場を失った者…等の実態把握及び自立支援に向けた取組」については、是非進めていただきたい。また、取組については広報活動もよろしくお願いします(1件)</p>
10	第3章 目標4 特別な支援を必要とする子供や家庭の自立を促進する基盤づくり  8件	<p>○乳児院の運営等について①家庭支援専門相談員の増員、②通院付添い対応の改善、③乳児院の一時保護機能の整備、④病虚弱児・障害児・低体重児の受入体制の整備⑤乳児院の一時保護機能の整備⑥予防接種費用の加算、を要望します。(1件)</p> <p>○医療看護体制の整った乳児院の整備を早急に希望する。(1件)</p> <p>○社会的養護の必要な子ども達への支援は手厚くしてください。(1件)</p> <p>○ワーク・ライフ・バランスの実現が難しい雇用環境の中、夜間・休日保育体制の整備や学童保育の時間延長等により母子家庭の母が安心して働ける環境づくりを推進して欲しい。あわせて、行政機関の臨時職員等採用での母子家庭の母枠の設定でまず行政から雇用創出に貢献していただきたい(1件)</p> <p>○母子家庭の都営住宅入居の優先枠はあるが、なかなか当選しないため、民間住宅入居の場合の住宅費への支援を要望する。(1件)</p> <p>○父子家庭でも、収入によって母子家庭と同じ援助が必要だ。(1件)</p> <p>○市町村レベルでの虐待への監視・ひとり親家庭への援助ができると思いいます。(1件)</p> <p>○どんな障害児でも望んでいる学校への入学を認めて欲しい。(1件)</p>
11	第3章 目標5 子供の安全と安心を確保し、子育てを支援する環境づくり 2件	<p>○通学路の外灯の増設(1件)</p> <p>○対象事業例で安心で自由な子どもの遊び場整備があげられています。保護者のニーズを反映していると思いますが、「安心」は壁や柵で囲まれていることで保障されるものではありません。ハード面だけでなく人と人をつなぐソフト面も含んだ取組となることを強く望みます。(1件)</p>
12	遊びの環境づくり(プレーパークほか)  6件	<p>○子どもの成長や自立の場が教育の場(学校)に偏らないようにすべきです。乳幼児の子育てひろば、児童館、プレーパークなど子どもの遊び環境を整える施設と親と子をつなぎ支える人を育てる必要があると思います。(3件)</p> <p>○子育て支援といえば待機児童の解消ばかり取り上げられているように感じる。しかし専業主婦家庭の子が、安心安全に自由にのびのびと遊ぶことのできる環境のない現状を解決してほしい。乳幼児から大人までと対象が幅広いことから、異年齢交流のできる都市型学童クラブの新しい形になり得ないかと期待している。(1件)</p> <p>○社会全体の風潮を変えていくために、東京都など広域レベルで真剣に取り組まなければならない問題だと考える。(1件)</p> <p>○重点的取組及び対象事業に、「外遊びができる子育てひろばの設置」や「プレーパークの設置」、「発達障害児の早期療育の推進」(子育てひろばやプレーパーク等で)の追加を希望(1件)</p>
13	不妊治療 1件	○不妊治療中夫妻(家庭)に対する不妊治療費補助制度の構築。(1件)
14	その他  5件	<p>○各施策をコーディネートする中間支援を是非重点的に取り入れて欲しい。行政として、価値観と環境の違ったもの同士の交流(働く母親+専業主婦、健常の子供+障害児等)を準備し、当事者の意識改革を行って欲しい。子育て中の両親、子どもたちにとっても多くの事例を「知る」ことで「選択」していく知識を得ます。また、行政内の他部署同士での連携をとった支援策を進めて欲しい。(1件)</p> <p>○バラバラの各施策を次世代育成支援策としてまとめた、この計画自体の普及活動をぜひ実践し、都としての準備を伝えることで、都民の気付きを促して欲しい。(1件)</p> <p>○児童の健全育成という名目で、表現の自由を抑圧するような形にならないよう慎重な議論をお願いする。(2件)</p> <p>○第3章、第2章について、「管理責任を過度に恐れる社会の風潮」「禁止・くやっちゃダメ」ばかり」という現状が子育てを難しくし、子どもの個性や創造力を伸ばすことを難しくし、自立する環境づくりを妨げていることについて、まったく触れられていない。(1件)</p>